

認 定 書

国 住 指 第 3 2 2 号
令和 2 年 8 月 21 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0992
2. 認定をした構造方法等の名称
化粧シート・無機質系シート・紙壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料
（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

化粧シート・無機質系シート・紙壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	$6.0_{\pm 0.6}$ 以下
表面化粧材の質量(g/m^2)	$1800.0_{\pm 180.0}$ 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材	<p>化粧シート・無機質系シート・紙壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ $6.0_{\pm 0.6}\text{mm}$以下 ・質量 $1800.0_{\pm 180.0}\text{g}/\text{m}^2$以下(有機質量$430.0_{\pm 43.0}\text{g}/\text{m}^2$以下) ・構成 <p>[1]化粧シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $1220.0_{\pm 122.0}\text{g}/\text{m}^2$以下(有機質量$145.0_{\pm 14.5}\text{g}/\text{m}^2$以下) ・構成 (1)～(5)のうちいずれか一仕様又は(1)～(4)の組合せとする <p>(1)合成樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60.0_{\pm 6.0}\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$35.0_{\pm 3.5}\text{g}/\text{m}^2$以下) ・構成($\text{g}/\text{m}^2$) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1} $\cdots 35.0_{\pm 3.5}$以下 (但し、ポリエステル系を含む場合は$28.0_{\pm 2.8}$以下、 ポリエチレン系を含む場合は$17.5_{\pm 1.7}$以下とする) (合成樹脂^{※1}の中に有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 7.0_{\pm 0.7}$含む) 無機質系充てん材^{※3}、無機質系顔料^{※3}、無機質系添加剤^{※4} $\cdots 0\sim 25.0_{\pm 2.5}$ <p>(2)印刷インキ(合成樹脂インキ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $40.0_{\pm 4.0}\text{g}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$20.0_{\pm 2.0}\text{g}/\text{m}^2$以下) ・構成($\text{g}/\text{m}^2$) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂インキ^{※5} $\cdots 20.0_{\pm 2.0}$以下 (但し、ポリエステル系の場合は$16.0_{\pm 1.6}$以下、 ポリエチレン系を含む場合は$10.0_{\pm 1.0}$以下とする) 無機質系充てん材^{※3}、無機質系顔料^{※3}、無機質系添加剤^{※4} $\cdots 0\sim 20.0_{\pm 2.0}$

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3)化粧シート：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ$2.0_{+0.2}mm$以下 ・質量$250.0_{\pm 25.0}g/m^2$以下(有機質量$125.0_{\pm 12.5}g/m^2$以下) ・構成(g/m^2) <ul style="list-style-type: none"> 植物系繊維^{※6} $\cdots 125.0_{\pm 12.5}$以下 合成樹脂系繊維^{※7}、合成樹脂^{※1} $\cdots 30.0_{\pm 3.0}$以下 (但し、ポリエチレン系を含む場合は$15.0_{\pm 1.5}$以下とする) 無機質系繊維^{※8} $\cdots 125.0_{\pm 12.5}$以下 <p>(4)無機質材料^{※9}、無機質系充てん材^{※3}、 無機質系顔料^{※3}、無機質系添加剤^{※4}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量$0g/m^2 \sim 870.0_{\pm 87.0}g/m^2$ (但し、無機質系添加剤^{※7}は$0 \sim 87.0_{\pm 8.7}g/m^2$の範囲とする) <p>(5)なし</p> <p>[2]主素材^{※10}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ $5.0_{\pm 0.5}mm$以下 ・質量 $580.0_{\pm 58.0}g/m^2$以下(有機質量$285.0_{\pm 28.5}g/m^2$以下) ・構成 (1)～(4)の組合せとする。 (但し、[2]主素材層の最上面は(1)無機質シートとする) <p>(1)無機質シート</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)アルミニウムはく (JISH4160：合金番号1N30又は8079)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ $7.0_{\pm 0.7}\mu m$以上 ・質量 $18.0_{\pm 1.8}g/m^2 \sim 45.0_{\pm 4.5}g/m^2$ <p>2)炭素シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ $30.0_{\pm 3.0}\mu m$以上 ・質量 $18.0_{\pm 1.8}g/m^2 \sim 120.0_{\pm 12.0}g/m^2$ ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> 黒鉛 $\cdots \cdots \cdots 100$

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(2) 主素材接着剤^{※11}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $85.0_{\pm 8.5}/\text{m}^2$(固形量)以下(有機質量$55.0_{\pm 5.0}/\text{m}^2$以下) ・構成(g/m²) 1)又は1)と2)の組合せとする <p>1)有機質: ①～⑥のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①エチレン酢酸ビニル系樹脂 ②酢酸ビニル系樹脂 ③でん粉系 ④酢酸ビニル・アクリル系樹脂 ⑤アクリル系樹脂 ⑥ポリエチレン系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $55.0_{\pm 5.5}$以下 (1)(3)の接着で$20_{\pm 2.0}$以下 (3)(4)の接着で$35_{\pm 2.0}$以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を$0\sim 5.5_{\pm 0.5}$含む) <p>2)無機質</p> <p>無機質系充てん材^{※3}、無機質系顔料^{※3}、無機質系添加剤^{※4}</p> <p>…$0\sim 30.0_{\pm 3.0}$</p> <p>(3) 上層紙^{※11}</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $300.0_{\pm 30.0}\text{g}/\text{m}^2$以下(有機質量$230.0_{\pm 23.0}\text{g}/\text{m}^2$以下) ・構成(g/m²) 1)又は1)と2)の組合せとする <p>1)有機質 ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①有機質系繊維^{※12} …$230.0_{\pm 23.0}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※7}と植物系繊維^{※6}を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}$55.2_{\pm 5.5}$以下とし、かつ有機質量を$184.0_{\pm 18.4}$以下とする。) ② 合成樹脂^{※1, ※8, …} $31.3_{\pm 3.1}$以下 (但し、有機系添加剤^{※2}を$0\sim 5.8_{\pm 0.5}$含む) 有機質系繊維^{※12, …} $165.6_{\pm 16.5}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$167.9_{\pm 16.7}$以下とする。有機質系繊維^{※12}として合成樹脂系繊維^{※7}と植物系繊維^{※6}を組合せて使用する場合は合成樹脂系繊維^{※7}は$1.0_{\pm 0.1}\sim 60.3_{\pm 6.0}$とする。) <p>2)無機質 ①、②のうち、いずれか一仕様又は組合せとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ①無機質系充てん材^{※3}、無機質系繊維^{※8} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②無機質系顔料^{※3}、無機質系添加剤^{※4} …$0\sim 40.0_{\pm 4.0}$

項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	<p>(4) 下層紙^{※11} I)、II)のうち、いずれか一仕様とする I) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質量 280.0\pm28.0g/m²以下(有機質量160.0\pm16.0g/m²以下) ・ 構成(g/m²) 1)又は1)と2)の組合せとする <ul style="list-style-type: none"> 1) 有機質 ①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ① 有機質系繊維^{※12} …160.0\pm16.0以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※7}と植物系繊維^{※6}を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※7}38.4\pm3.8以下とし、かつ有機質量を128.0\pm12.8以下とする。) ② 合成樹脂^{※1}…21.7\pm2.1以下 (但し、有機質系添加剤^{※2}を0\sim5.0\pm0.5含む) 有機質系繊維^{※12} ……115.0\pm11.5以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を116.0\pm11.6以下とする。有機質系繊維^{※12}として合成樹脂系繊維^{※7}と植物系繊維^{※6}を組合せて使用する場合は合成樹脂系繊維^{※7}は1.0\pm0.1\sim42.4\pm4.2とする。) 2) 無機質 ①、②のうち、いずれか一仕様又は組合せとする <ul style="list-style-type: none"> ① 無機質系充てん材^{※4}、無機質系繊維^{※8} …0\sim120.0\pm12.0 ② 無機質系顔料^{※3}、無機質系添加剤^{※4} …0\sim40.0\pm4.0 <p>II) なし</p> <p>※1:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、アクリルスチレン系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系、ワックス系、ニトロセルロース系、エチレングリコール系、マレイン酸系、のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:有機質系添加剤は、発泡剤(アゾジカルボンアミド系、オキシビスフェノールホルトリゾット系)、防かび剤、有機系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、珪藻土、金属粉(アルミニウム)、鉍物粒及び鉍物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレングリコール系、ポリエステル系、ポリエチレン系、アクリルスチレン系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6:植物系繊維はパルプ、綿、麻、レーヨン、スフ、キュブラ、アセート、セルロース系繊維のいずれか、又は組合せとする</p> <p>※7:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリテン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリビニルアルコール、ポリウレタン、ポリエチレンのいずれか一仕様、又は組合せとする。</p> <p>※8:無機質系繊維は、金属繊維系、ガラス繊維系、炭素繊維のいずれか一仕様、又は組合せとする</p> <p>※9:無機質系材料は、シリカ、ひる石、ゼオライト、珪藻土、マイカ、ガラス、クレ、炭酸カルシウム、セラミック、アルミニウム、錫、銅、亜鉛、鉄、銀、白金、金のいずれか、又は組合せとする。形状は、粉体、粒子、はく、シート、糸状のいずれかとする。</p> <p>※10:主素材は、紙、無機質紙、不織布(non wovenpaper)のいずれかとする。</p> <p>※11:アゾ系、キノ系、の染料、又はアゾ系顔料、フタロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、無機質系顔料^{※4}を含む場合がある。</p> <p>※12:有機質系繊維は、植物系繊維^{※10}、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$ 以下) ・構成 以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1]でん粉系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60.0_{\pm 6.0}\text{g/m}^2$ 以下) ・組成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり …………… $80_{\pm 2}$ 以上 補強剤※13 …………… $20_{\pm 2}$ 以下 (又は補強剤なし) [2]シーラー：合成樹脂※14 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$ 以下) <p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機量 $40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$ 以下) ・構成 以下の[1]または[1]と[2]を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1]メチルセルロース系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機量 $40.0_{\pm 4.0}\text{g/m}^2$ 以下) メチルセルロース …………… $80_{\pm 2}$ 以上 補強剤※13 …………… $20_{\pm 2}$ 以下 (又は補強剤なし) [2]シーラー：合成樹脂※14 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10.0_{\pm 1.0}\text{g/m}^2$ 以下) <p>※13：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする</p> <p>※14：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、またはシーラーなしとする</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く）</p> <p>平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鋼鉄、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

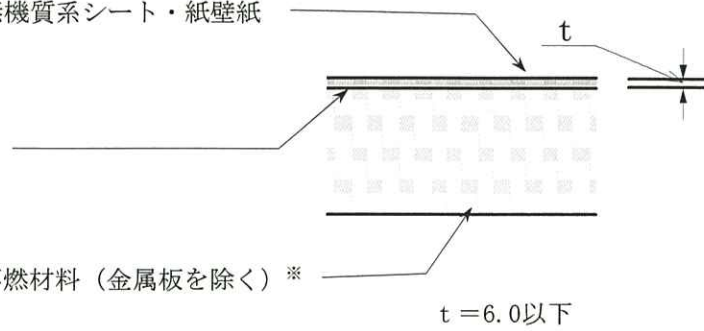
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

1) 表面化粧材：化粧シート・無機質系シート・紙壁紙

2) 接着剤及びシーラー

3) 基 材：準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く）※



※平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鋼鉄、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの